

前回までのグループワークの結果

第1部会(安心・安全・人権・環境)

部会	大項目	小項目	付箋内容			
第1部会	豊かな自然環境が減りつつある	自然が減っている	割と自然が残っているが、ドンドン減っている 緑が少ない(2)			
		都市化と自然環境が程よく調和している	農産地と市街地が近接している 緑と市街地がうまく分かれている 田園などと都市部の両方がほどよく存在している 発展しすぎず、田舎すぎず住みやすい(2) 都市化と自然環境が程よく調和している → これ以上開発しないでほしい			
			自然・地形に恵まれている	環境に恵まれている(4) 気候が良い 琵琶湖に近い 琵琶湖に接する長さが多い 琵琶湖岸に位置し景観が良い 緑、田園、湖に接し、広範囲な都市である 天井川があった 旧草津川がよかった 旧草津川の桜		
				災害が少ない	災害がない、少ない(5)	
				草津川跡地の活用が十分でない	草津川跡地が充分活用できていない 旧草津川の取り扱いが不明だが、災害時に使える施設にならないか 人通りが少ない 荒れた印象がある 空き地を利用できていない 街灯が少ない 利用が決まっていなくて管理が大変だ 桜などの憩いは残したい ゾーン別の利用よりも草津市全体としての利用法を模索するべきだ 防災拠点+道をセットで整備できないか	
		人権意識が高い			人権や環境に対して意識が高い人が多い 人権が守られている 平和のモニュメントで啓発してはどうか	
					犯罪や安全性が不安だ	物騒なことが多い 犯罪が多い 重大犯罪が少ない 軽微な犯罪は多い 自転車の盗難などの犯罪が増えつつある 治安が不安 大型商業施設に子どもが遊びにいった場合、周囲の大人の目が行き届かないためのトラブルが心配

前回までのグループワークの結果

第1部会(安心・安全・人権・環境)

部会	大項目	小項目	付箋内容
	魅力のある公園の整備が必要だ	公園整備の不足	中心地に公園、芝生の広場がない、少ない(2)
			人が集うような、コミュニティの中心となるような場所に公園がない
			児童館、児童センターがない(無料で自由に遊びに行ける場所)
			子どもが一人で行けるような駄菓子屋が少ない → 老人会で駄菓子屋を担ってもらい、たまり場的な機能をもたせられないか
			公園の管理が悪い
			公園が放置されている
			公園の遊具が多すぎる
			ロクハ公園に食事ができるログハウス等があればよい
			ロクハ公園はイベントが少ない
			ロクハ公園は公園へのアクセスがすくない
			ロクハ公園はアクセスが不便である
			ロクハ公園は子どもだけでは遊べない
			ロクハ公園は交通の便が悪く利用者が少ない
		安全な子供の遊び場が少ない	
		公園の魅力・管理が良い	南草津団地の公園の管理→毎週1回草むしり
			ロクハ公園カブトムシの家がある
			ロクハ公園土の上を歩いたり緑をみるとほっとする。
			ロクハ公園遊具に頼らず、自然を活かした公園で心がやすらぐ
			ロクハ公園市民に愛されている
			ロクハ公園意外と利用者が多い
ロクハ公園親子で遊べるのがよい			
ロクハ公園プールの人気が高い			
博物館、水生植物公園以外にレジャーを楽しむ人が意外と多い			

前回までのグループワークの結果

第2部会（健康・福祉・教育・スポーツ）

部会	大項目	小項目	付箋内容
	子どもや高齢者の居場所がない		どこの施設でも年配の人の姿を見かけない。出かけられる場所が必要 子どもがいない。
健康・福祉、教育文化、スポーツ施設が不足している	大規模スポーツ施設の不足		大規模なスポーツ施設(1万席以上)がない(Jリーグを目指す草津のチームがあるが、大会は他市での開催が多い。草津市に施設が誘致できれば、経済効果は大きい)
			ゴルフ場がない
	公共の病院がない		公立の医療機関がない(他市にはあるのに、市民にとってどうか)⇔(逆に、民間で成り立つのならばよい方ではないか?)
			公共の病院がない 烏丸半島の施設を病院や老人施設を含む総合コミュニティゾーンにできないか
幼稚園の入園に制限がある		幼稚園の入園に制限がある	
都市景観の目指す方向が見えにくい			町の景観として、あまり良くない
			都市景観の目指す方向が見えにくい
			四季を感じるものがない。
			花がない。
			烏丸半島の空き地利用は？(3)
			風車はシンボルになっているか？
			烏丸半島の施設計画は集客が難しいのでは？
			烏丸半島の施設計画は使用用途・目的を明確にしないと不安、もったいない
			烏丸半島の施設計画は中途半端にならない利用をしてほしい
			三ツ池の残りの2つの池は憩いの場として活用できないか？(2)
			三ツ池はせっかくだから全土地を市の建築物にすればいいのに
			三ツ池はサッカー場の芝が天然の場合、年に50年程度しか使えない
			三ツ池は中心部に近く、便利な場所にある
			三ツ池は思っていたより広い(3)
			三ツ池は埋立地と住宅が隣接している
			三ツ池は施設の内容が盛り込みすぎではないか
			三ツ池は企業売却部分の内容が共存できるものか
		文化芸術の発信・交流拠点が少ない	
	大きな市民ホールがない		
	文化芸術の発信・交流拠点が少ない		
	市主の文化施設がない(ホール)		
	「歴史・文化行政が近隣市町より弱い」と言われる		
		文化施設が少ない	

前回までのグループワークの結果

第2部会(健康・福祉・教育・スポーツ)

部会	大項目	小項目	付箋内容
第2部会	文化的な魅力が不足している	オリジナルな魅力の不足	通過交通しかない
			興味をそそられるようなお店が連続していない
歩いて魅力のある街にする必要がある			
商店街、文化ゾーンも含めて、何の興味もない街になっている。			
人を呼び込む魅力がない			
買い物に京都、大阪に行ってしまう			
郷土料理がない？			
全国的に有名なお土産がない			
町のターゲットがどんな人なのか見えない			
草津といえば・・・というシンボル、核、ブランドがない(5)			
地味なイメージ(大阪から見ると大津以北はよくわからない)			
誇れるものがない			
群馬の草津と間違われる(2)			
花火大会がない			
おいしいそば屋がない			
第2部会		観光資源が少ない	観光資源が少ない 活かしていない(2)
			歴史文化の観光に力が入っているとは思えない。
			修学旅行生が琵琶湖博物館などに来たとしても、宿泊施設がない
			観光客にとって草津は狭間の時間(メインは京都など)
			草津宿本陣の近隣に観光客立ち寄りやすいところ(観光名所、土産物屋など)がない
			烏丸半島～草津宿本陣～観光地が点在している。どうしても車での移動観光になる
			観光客の動線が悪い。もう少し歩いてみたいと思えない。
			良い所が点々とあるのに本陣くらいまでで止まってしまう。
			地区計画ができていなかった街。特にでこぼこの軒先。
			歴史交流館の利用者が日曜日なのに少ない。むしろ皆無。
			歩くと一息つける場所がほしい。ベンチなど。
			酒蔵、太田道灌をもっと活かす。
			店舗の跡地が小さな駐車場となっている。月極めが多く観光客は使えない。
			公共スペースがない。
「東海道」ではわかりにくい。			
旧東海道の目印がわかりにくい。			
第2部会	歴史的・文化的な魅力がある	歴史文化の街	歴史文化の街
			古い建物が結構ある。
		草津宿本陣が魅力的	東海道と中山道の交差する宿場町
			草津宿本陣が魅力的
			宿場の景観を統一できれば美しい
			本陣の前のホールは楽しみ、文化の色が出てほしい。
シネマハウスの利活用。部屋の貸し出し、その他。			

前回までのグループワークの結果

第3部会(都市基盤)

部会	大項目	小項目	付箋内容
	人口増加による活気		人口増加 (2) 人口増加したため (県内他市より) 活気がある (5) 人口が多すぎる 人が多すぎない 人口が程よい状況にある 若さや先行きの可能性をもった町である
	まちの分断	旧草津川、JRIによるまちの分断	旧草津川が都市を分断している
旧草津川、JRIによるまちの分断		東西が旧草津川、南北がJRで分断されている	
急激な人口増加による野路町の分断		急激な人口の増加 (旧野路町の方断)	
急激な人口増加による野路町の方断		急激な人口の増加による旧野路町の方断	
ゴミ処理場が不十分		ゴミ処理場が不十分	
産業と住環境の調和が大切だ	産業施設が多い	大手メーカー工場が多い	
	農業が盛ん	農業が盛ん	
	職場と住まいが両立するまちづくり	職場がコミュニティスポットの真ん中にあるといいな	
南草津駅周辺の活気と開発(大学の影響)		南草津駅周辺が開発されてきた 便利な街、駅前に集中する店舗。目的が明確に達成できる。 南草津駅前には活気がある。 南草津は若い町であり活気がある 南部地区に活力を感じる 大学がある (2) 若者が多く街に活気がある 立命館大学・若者・活気 (南草津駅の活気) 学生が多い (BKC人口は17,500人、市内129のマンションに8,000人の学生が住んでいる。しかし住民票を草津にもっているのはそのうち3割) (バス・自転車の輻輳も) 南と北の状況が異なることに注目することも必要だが、最終的にはそれらをつないでいくことを考えることになるだろう	
	中心部にマンションが多い		駅前にマンションがはりつき過ぎ 中心部は商業地なのにマンションが多すぎる 住宅供給過剰 (学生マンション・企業マンション、パブルの様相を呈している) (2)

前回までのグループワークの結果

第3部会（都市基盤）

部会	大項目	小項目	付箋内容
第3部会	交通環境が整備不足である	公共交通整備の不足	車等がないと生活が不便
			車以外での交通手段がない
			市街地以外では車なしでは生活できない
			交通（公共の）が不便
			南草津駅に新快速が止まらない
			路線バスの運賃が高い
			バスが少ない（立命館大学よりも先へ行くとバスがとても少ない）
			商店街を循環するような無料バスがない
		道路整備の不足	バスが高い、少ない（観光スポットをめぐる場合に、たとえば草津宿から琵琶湖博物館へバスで行こうとしたら、アクセスが悪く本数も少なく料金が高い）
			渋滞が多い
			主要幹線・道路が集中している
			道路が混んでいる（国道1号）
			道路の渋滞・年々悪化している（特に南北の道路が詰まる）
			道路インフラが追いついていない（抜本的解決には車そのものを減らす必要がある）
			道路が狭い（4）
			道路が複雑
			道路が混む
			国道1号のアクセスが混む。
			草津川により交通の便が悪くなっている
			三つ池周辺の道路は混雑している
			生活道路の整備が十分でない
			歩道が狭い（そのため自転車と歩行者が一緒）（2）
			歩道～車道の段差が危ない
			歩道の真ん中の電柱どやろ（トンネルの出口）
			交差点の信号間隔が短いので、渋滞する。人も渡りにくい。
			サインが分かりにくい。
			自転車置き場がバラバラ。
			住宅街の通り抜けが多い
		草津駅前（道がごちゃごちゃしている・かつては開かずの踏み切り）	
		交通マナーが悪い	駐車場がない
			駐車場が狭い
			烏丸の民活予定地付近の路上駐車が多い(2)
			交通マナーが悪い
			道路にゴミをよく捨てられる
			駅前ロータリー駐車の車が多い
		学生の交通マナーが悪い（学生だけでひとつのまちの規模を持っているのだから、いい人も悪い人もいて当然といえば当然である）	

前回までのグループワークの結果

第3部会(都市基盤)

部会	大項目	小項目	付箋内容	
生活に必要なハードが充実している		交通の便が良い	交通の要所（2）	
			大阪、京都への通勤圏（3）（そのため人口増）	
			京阪神への立地がよい	
			京都大阪に出かけやすい	
			通勤しやすい	
			交通の便が良い（5）	
			交通がある程度便利	
			インフラ整備が進んでいる	
			JR、道路などのアクセスが良い、JR、高速道などの幹線がわりと便利	
			道路が整備されている	
			車で移動しやすい	
			滋賀県の中での位置が中心に近い	
			京阪神への利便性がよい（新快速の登場で際立った。バブル期には終の住処として草津を選ぶ人も）	
			買い物の便がいい	買い物の便がいい
				暮らしに必要な日常的な買い物だけでいい街になっている。
スーパー、店が多く、近いところで買える（物価も安い）（3）				
大型商業施設の進出	大型商業施設の進出により生活が便利			
	大規模店舗の充実			
生活に便利で住みやすい	まちとして適当なサイズを有している			
	生活する環境（衣・食・住）が整っている			
	生活に便利で住みやすい（3）			
生活インフラが整っている	清潔、ゴミが少ない			
	上下水道設備が整っていて良い			
集会所施設が未整備である			溝ぶたの段差が解消できている	
			南草津団地集会所の入り口にスロープがないため高齢者が利用しにくい	
			商店街が衰退している	商店街が細分化され過ぎ
				旧市内に活力がない
				大型商業施設による商店街の衰退（2）
				商店街が寂しい（3）
				商店街の後継者がいない
				商店街（シャッター通り。ポテンシャルはある。行政の力だけでは何ともならない。地域通貨も肝心の商店が盛り上がらなかった）
				シャッターが閉まっている
				日曜でもあけてほしい
				シャッターが閉まっているのが寂しい
				閉まっている店が多く寂しい
				平日より日曜が休みの店が多い
				商店が閉まっていて楽しめない。楽しめる工夫が必要。

前回までのグループワークの結果

第3部会(都市基盤)

部会	大項目	小項目	付箋内容
			シャッター通りになりつつある。 人や自転車の通過道路になっている。 6丁目から4丁目のお店のお客が4軒で4名であった。 商店街が日曜日なのに人が歩いていない。 商店の努力も足りない。 住宅や病院が店舗の間に入り乱れているために、歩いて楽しめない。 屋間しまっている居酒屋が増えているため屋間がさみしい。 まちなみがそろっている所とそうでない所がありバランスが悪い。 間口の狭い店が多い。
	開発が中途半端		(開発が) 何事も中途半端 (そこそこは形態を成す力があるだけに、中途半端になる)



前回までのグループワークの結果

第4部会（協働）

部会	大項目	小項目	付箋内容
第4部会	地域コミュニティが弱まってきた		転入者が多い → 人口増加、コミュニティづくりへの課題
			古い価値観にとらわれている
			新旧住民が交流しない、交流が少ない、ギクシャクしている（4）
			新住民どうしの交流が少ない（2）
			人の入れ替わりが激しい（協働の難しさ）
			小学校・中学校 協働合校がある（大阪などにはない）
			市民がまとまりにくい
			住宅団地では同世代の方々が集うので、世代を超えた広がりを持つことが難しい
			団地・共生できる環境づくり（物理的に）（例）多世代混住の推進
			人が減りつつある
			住宅団地単位では課題が共有できるが多用なニーズには応えられない。他地域との連携が必要
			行政に不足している点がある
行政の顔が見えにくい			
草津の中心でイベントが多い（琵琶湖側や、山側での開催が少ない）			
市の中心市街地の改善・改革の手の打ち方が小さい。			
多文化共生施策がない	行政の縦割りの弊害がある		行政の縦割りの弊害がある、融通が利かない
			多文化共生施策がない
市民活動が遅れている点と進んでいる点がある	市民活動が盛ん		市民活動をやっているとおもしろい人との出会いがある
			市民活動が盛ん（2）
			70歳以上が引っ張ってきた南草津団地の活動
			南草津団地は町内会全体が高齢化する中で、周辺町内会との交流（子育てサロン）の場がある
			老上公民館では「地域協働合校」の取り組み（幼稚園・小学校・中学校・公民館が近くにあるので連携しやすい）
			老上公民館は「あいさつ通り」「わんぱくプラザ」など活発
			老上公民館の学区内は様々な自治会があるので多いところも少ないところも一緒にするのは難しい
福祉やボランティア活動が遅れている	他市に比べ福祉やボランティア活動が遅れている		

前回までのグループワークの結果

第4部会（協働）

部会	大項目	小項目	付箋内容
市民センターの役割が大きい	市民センター機能が充実している		市民センター機能が充実している
			市民センターの役割が大きい
			老上公民館は、現在は市民センターとして届出發行
		市民センターの魅力づくりが課題	市民センターの魅力づくりが課題
			市民センターが地域に溶け込んでいない
			市民センターのスタッフが排他的である
	市民センターの魅力づくりが課題	市民センターは市民団体間の調整をしてほしい	
		市民センター化により利便性は向上、使い勝手は要進化、運営（会館）スタイルは要改善	
		市民のための施設であるならばもっと開かれた運営を考える必要がある	
		イメージが暗い	
		地域の拠点活動なので参加しない人をいかに参加してもらえるか	
		館長によって運営が違う	
		職員体制はいつそのこと米原方式（管理委託）もよいのではないか	
		全学区一斉システムは難しいのでモデル地域はどうか？	
まちづくりセンターの役割が大きい	運営協議会方式がよい	運営協議会で市民と行政・財団が対等に話し合う まちづくりセンター 利用者・所有者・管理者との協働による運営協議会	
	利用団体調整が難しい	まちづくりセンター 利用の仕方が異なる各団体の調整の難しさ	
行財政状況の安定	行財政状況の安定	夕張のように破綻していない	

第2回～4回市民会議のグループワークの結果

部会	大項目	小項目	付箋内容	
第1部会	豊かな自然環境が減りつつある	自然が減っている	割と自然が残っているが、ドンドン減っている 緑が少ない (2)	
		都市化と自然環境が程よく調和している	農産地と市街地が近接している	緑と市街地がうまく分かれている
			田園などと都市部の両方がほどよく存在している	発展しすぎず、田舎すぎず住みやすい (2)
			都市化と自然環境が程よく調和している → これ以上開発しないでほしい	
		自然・地形に恵まれている	環境に恵まれている (4)	気候が良い
			琵琶湖が近い	琵琶湖に接する長さが多い
			琵琶湖岸に位置し景観が良い	緑、田園、湖に接し、広範囲な都市である
			天井川があった	旧草津川がよかった
			旧草津川の桜	
	災害が少ない		災害がない、少ない (5)	
	草津川跡地の活用が十分でない		草津川跡地が充分活用できていない 旧草津川の取り扱いが不明だが、災害時に使える施設にならないか 人通りが少ない 荒れた印象がある 空き地を利用できていない 街灯が少ない 利用が決まっていなくて管理が大変だ 桜などの憩いは残したい ゾーン別の利用よりも草津市全体としての利用法を模索すべきだ 防災拠点+道をセットで整備できないか	
	人権意識が高い		人権や環境に対して意識が高い人が多い 人権が守られている 平和のモニュメントで啓発してはどうか	
	犯罪や安全性が不安だ		物騒なことが多い 犯罪が多い 重大犯罪が少ない 軽微な犯罪は多い 自転車の盗難などの犯罪が増えつつある 治安が不安	

第2回～4回市民会議のグループワークの結果

部会	大項目	小項目	付箋内容
	魅力のある公園の整備が必要だ	公園整備の不足	大型商業施設に子どもが遊びにいった場合、周囲の大人の目が行き届かないためのトラブルが心配
			中心地に公園、芝生の広場がない、少ない(2)
			人が集うような、コミュニティの中心となるような場所に公園がない
			児童館、児童センターがない(無料で自由に遊びに行ける場所)
			子どもが一人で行けるような駄菓子屋が少ない → 老人会で駄菓子屋を担ってもらい、たまり場的な機能をもたせられないか
			公園の管理が悪い
			公園が放置されている
			公園の遊具が多すぎる
			ロクハ公園に食事ができるログハウス等があればよい
			ロクハ公園はイベントが少ない
			ロクハ公園は公園へのアクセスがすくない
			ロクハ公園はアクセスが不便である
			ロクハ公園は子どもだけでは遊べない
			ロクハ公園は交通の便が悪く利用者が少ない
		安全な子供の遊び場が少ない	
		公園の魅力・管理が良い	南草津団地の公園の管理→毎週1回草むしり
			ロクハ公園カブトムシの家がある
			ロクハ公園土の上を歩いたり緑をみるとほっとする。
			ロクハ公園遊具に頼らず、自然を活かした公園で心がやすらぐ
			ロクハ公園市民に愛されている
			ロクハ公園意外と利用者が多い
			ロクハ公園親子で遊べるのがよい
			ロクハ公園プールの人気が高い
			博物館、水生植物公園以外にレジャーを楽しむ人が意外と多い

第2回～4回市民会議のグループワークの結果

部会	大項目	小項目	付箋内容	
第2部 △	子どもや高齢者の居場所がない		どこの施設でも年配の人の姿を見かけない。出かけられる場所が必要	
			子どもがいない。	
	健康・福祉、教育文化、スポーツ施設が不足している	大規模スポーツ施設の不足		大規模なスポーツ施設（1万席以上）がない（Jリーグを目指す草津のチームがあるが、大会は他市での開催が多い。草津市に施設が誘致できれば、経済効果は大きい）
				ゴルフ場がない
		公共の病院がない		公立の医療機関がない（他市にはあるのに、市民にとってどうか）⇔（逆に、民間で成り立つのならばない方がよいのでは？）
				公共の病院がない 烏丸半島の施設を病院や老人施設を含む総合コミュニティゾーンにできないか
	幼稚園の入園に制限がある		幼稚園の入園に制限がある	
	都市景観の目指す方向が見えにくい		町の景観として、あまり良くない	
			都市景観の目指す方向が見えにくい	
			四季を感じるものがない。	
			花がない。	
			烏丸半島の空き地利用は？（3）	
			風車はシンボルになっているか？	
			烏丸半島の施設計画は集客が難しいのでは？	
			烏丸半島の施設計画は使用用途・目的を明確にしないと不安、もったいない	
			烏丸半島の施設計画は中途半端にならない利用をしてほしい	
			三ツ池の残りの2つの池は憩いの場として活用できないか？（2）	
			三ツ池はせっかくだから全土地を市の建築物にすればいいのに	
			三ツ池はサッカー場の芝が天然の場合、年に50年程度しか使えない	
			三ツ池は中心部に近く、便利な場所にある	
			三ツ池は思っていたより広い（3）	
文化芸術の発信・交流拠点が少ない		映画館がない		
		大きな市民ホールがない		
		文化芸術の発信・交流拠点が少ない		
		市主の文化施設がない（ホール）		
		「歴史・文化行政が近隣市町より弱い」と言われる		
	文化施設が少ない			
	通過交通しかない			
	興味をそえられるようなお店が連続していない			
	歩いて魅力のある街にする必要がある			

第2回～4回市民会議のグループワークの結果

部会	大項目	小項目	付箋内容
云	文化的な魅力が不足している	オリジナルな魅力の不足	商店街、文化ゾーンも含めて、何の興味もない街になっている。
			人を呼び込む魅力がない
買い物に京都、大阪に行ってしまう			
郷土料理がない？			
全国的に有名なお土産がない			
町のターゲットがどんな人なのか見えない			
草津といえば・・・というシンボル、核、ブランドがない (5)			
地味なイメージ (大阪から見ると大津以北はよくわからない)			
誇れるものがない			
群馬の草津と間違われる (2)			
花火大会がない			
おいしいそば屋がない			
文化的な魅力が不足している			観光資源が少ない
	歴史文化の観光に力が入っているとは思えない。		
	修学旅行生が琵琶湖博物館などに来たとしても、宿泊施設がない		
	観光客にとって草津は狭間の時間 (メインは京都など)		
	草津宿本陣の近隣に観光客立ち寄りやすいところ (観光名所、土産物屋など) がない		
	烏丸半島～草津宿本陣～観光地が点在している。どうしても車での移動観光になる		
	観光客の動線が悪い。もう少し歩いてみたいと思えない。		
	良い所が点々とあるのに本陣くらいまでで止まってしまう。		
	地区計画ができていなかった街。特にでこぼこの軒先。		
	歴史交流館の利用者が日曜日ののに少ない。むしろ皆無。		
	歩くと一息つける場所がほしい。ベンチなど。		
	酒蔵、太田道灌をもっと活かす。		
	店舗の跡地が小さな駐車場となっている。月極めが多く観光客は使えない。		
公共スペースがない。			
「東海道」ではわかりにくい。			
旧東海道の目印がわかりにくい。			
歴史的・文化的な魅力がある	歴史文化の街	歴史文化の街	
		古い建物が結構ある。	
	草津宿本陣が魅力的	東海道と中山道の交差する宿場町	
		草津宿本陣が魅力的	
		宿場の景観を統一できれば美しい	
		本陣の前のホールは楽しみ、文化の色が出てほしい。	
		シネマハウスの利活用。部屋の貸し出し、その他。	

第2回～4回市民会議のグループワークの結果

部会	大項目	小項目	付箋内容
	人口増加による活気		人口増加（2）
			人口増加したため（県内他市より）活気がある（5）
			人口が多すぎる
			人が多すぎない
			人口が程よい状況にある
	まちの分断	旧草津川、JRIによるまちの分断	若さや先行きの可能性をもった町である
			旧草津川が都市を分断している
			東西が旧草津川、南北がJRで分断されている
			急激な人口増加による野路町の分断
			急激な人口増加による野路町の分断
	産業と住環境の調和が大切だ	産業施設が多い	急激な人口増加による野路町の分断
			急激な人口増加による野路町の分断
			急激な人口増加による野路町の分断
	産業と住環境の調和が大切だ	農業が盛ん	ゴミ処理場が不十分
			大手メーカー工場が多い
			農業が盛ん
	南草津駅周辺の活気と開発（大学の影響）	職場と住まいが両立するまちづくり	職場がコミュニティスポットの真ん中にあるといいな
			南草津駅周辺が開発されてきた
			便利な街、駅前に集中する店舗。目的が明確に達成できる。
			南草津駅前には活気がある。
			南草津は若い町であり活気がある
			南部地区に活力を感じる
			大学がある（2）
			若者が多く街に活気がある
			立命館大学・若者・活気（南草津駅の活気）
			学生が多い（BKC人口は17,500人、市内129のマンションに8,000人の学生が住んでいる。しかし住民票を草津にもっているのはそのうち3割）（バス・自転車の輻輳も）
南と北の状況が異なることに注目することも必要だが、最終的にはそれらをつないでいくことを考えることになるだろう			
	中心部にマンションが多い		駅前マンションがはりつき過ぎ
			中心部は商業地なのにマンションが多すぎる
			住宅供給過剰（学生マンション・企業マンション、パブルの様相を呈している）（2）
	公共交通整備の不足		車等がないと生活が不便
			車以外での交通手段がない
			市街地以外では車なしでは生活できない
			交通（公共の）が不便
			南草津駅に新快速が止まらない
			路線バスの運賃が高い

第2回～4回市民会議のグループワークの結果

部会	大項目	小項目	付箋内容
第3部会	交通環境が整備不足である		<p>バスが少ない（立命館大学よりも先へ行くとバスがとても少ない）</p> <p>商店街を循環するような無料バスがない</p> <p>バスが高い、少ない（観光スポットをめぐる場合に、たとえば草津宿から琵琶湖博物館へバスで行こうとしたら、アクセスが悪く本数も少なく料金が高い）</p>
		道路整備の不足	<p>渋滞が多い</p> <p>主要幹線・道路が集中している</p> <p>道路が混んでいる（国道1号）</p> <p>道路の渋滞・年々悪化している（特に南北の道路が詰まる）</p> <p>道路インフラが追いついていない（抜本的解決には車そのものを減らす必要がある）</p> <p>道路が狭い（4）</p> <p>道路が複雑</p> <p>道路が混む</p> <p>国道1号のアクセスが混む。</p> <p>草津川により交通の便が悪くなっている</p> <p>三つ池周辺の道路は混雑している</p> <p>生活道路の整備が十分でない</p> <p>歩道が狭い（そのため自転車と歩行者が一緒）（2）</p> <p>歩道～車道の段差が危ない</p> <p>歩道の真ん中の電柱どやろ（トンネルの出口）</p> <p>交差点の信号間隔が短いので、渋滞する。人も渡りにくい。</p> <p>サインが分かりにくい。</p> <p>自転車置き場がバラバラ。</p> <p>住宅街の通り抜けが多い</p> <p>草津駅前（道がごちゃごちゃしている・かつては開かずの踏み切り）</p> <p>駐車場がない</p> <p>駐車場が狭い</p> <p>烏丸の民活予定地付近の路上駐車がが多い(2)</p>
		交通マナーが悪い	<p>交通マナーが悪い</p> <p>道路にゴミをよく捨てられる</p> <p>駅周辺等路上駐車がが多い</p> <p>駅前ロータリー駐車の車が多い</p> <p>学生の交通マナーが悪い（学生だけでひとつのまちの規模を持っているのだから、いい人も悪い人もいて当然といえば当然である）</p>



第2回～4回市民会議のグループワークの結果

部会	大項目	小項目	付箋内容
	生活に必要なハードが充実している	交通の便が良い	交通の要所（2）
			大阪、京都への通勤圏（3）（そのため人口増）
			京阪神への立地がよい
			京都大阪に出かけやすい
			通勤しやすい
			交通の便が良い（5）
			交通がある程度便利
			インフラ整備が進んでいる
			JR、道路などのアクセスが良い、JR、高速道などの幹線がわりと便利
			道路が整備されている
			車で移動しやすい
			滋賀県の中での位置が中心に近い
			京阪神への利便性がよい（新快速の登場で際立った。バブル期には終の住処として草津を選ぶ人も）
		買い物の便が良い	買い物の便がいい
			暮らしに必要な日常的な買い物だけでいい街になっている。
			スーパー、店が多く、近いところで買える（物価も安い）（3）
		大型商業施設の進出	大型商業施設の進出により生活が便利
			大規模店舗の充実
		生活に便利で住みやすい	まちとして適当なサイズを有している
			生活する環境（衣・食・住）が整っている
生活に便利で住みやすい（3）			
生活インフラが整っている	清潔、ゴミが少ない		
	上下水道設備が整っていて良い		
集会所施設が未整備である	溝ぶたの段差が解消できている		
	南草津団地集会所の入り口にスロープがないため高齢者が利用しにくい		
		商店街が細分化され過ぎ	
		旧市内に活力がない	
		大型商業施設による商店街の衰退（2）	
		商店街が寂しい（3）	
		商店街の後継者がいない	
		商店街（シャッター通り。ポテンシャルはある。行政の力だけでは何ともならない。地域通貨も肝心の商店が盛り上がらなかった）	
		シャッターが閉まっている	
		日曜でもあけてほしい	
		シャッターが閉まっているのが寂しい	

第2回～4回市民会議のグループワークの結果

部会	大項目	小項目	付箋内容
	商店街が衰退している		<p>閉まっている店が多く寂しい</p> <p>平日より日曜が休みの店が多い</p> <p>商店が閉まっていて楽しめない。楽しめる工夫が必要。</p> <p>シャッター通りになりつつある。</p> <p>人や自転車の通過道路になっている。</p> <p>6丁目から4丁目のお店のお客が4軒で4名であった。</p> <p>商店街が日曜日なのに人が歩いていない。</p> <p>商店の努力も足りない。</p> <p>住宅や病院が店舗の間に入り乱れているために、歩いて楽しめない。</p> <p>昼間しまっている居酒屋が増えているため昼間がさみしい。</p> <p>まちなみがそろっている所とそうでない所がありバランスが悪い。</p> <p>間口の狭い店が多い。</p>
	開発が中途半端		<p>(開発が) 何事も中途半端 (そこそこは形態を成す力があるだけに、中途半端になる)</p>

第2回～4回市民会議のグループワークの結果

部会	大項目	小項目	付箋内容
第4部会	地域コミュニティが弱まってきた		転入者が多い → 人口増加、コミュニティづくりへの課題
			古い価値観にとらわれている
			新旧住民が交流しない、交流が少ない、ギクシャクしている (4)
			新住民どうしの交流が少ない (2)
			人の入れ替わりが激しい (協働の難しさ)
			小学校・中学校 協働校がある (大阪などにはない)
			市民がまとまりにくい
			住宅団地では同世代の方々が集うので、世代を超えた広がりを持つことが難しい
			団地・共生できる環境づくり (物理的に) (例) 多世代混住の推進
			人が減りつつある
			住宅団地単位では課題が共有できるが多様なニーズには応えられない。他地域との連携が必要
			行政に不足している点がある
行政の顔が見えにくい			
草津の中心でイベントが多い (琵琶湖側や、山側での開催が少ない)			
市の中心市街地の改善・改革の手の打ち方が小さい。			
行政の縦割りの弊害がある	行政の縦割りの弊害がある、融通が利かない		
	多文化共生施策がない		
市民活動が遅れている点と進んでいる点がある	市民活動が盛ん	市民活動をやっているとおもしろい人との出会いがある	
		市民活動が盛ん (2)	
		70歳以上が引っ張ってきた南草津団地の活動	
		南草津団地は町内会全体が高齢化する中で、周辺町内会との交流 (子育てサロン) の場がある	
		老上公民館では「地域協働校」の取り組み (幼稚園・小学校・中学校・公民館が近くにあるので連携しやすい)	
		老上公民館は「あいさつ通り」「わんぱくプラザ」など活発	
		老上公民館の学区内は様々な自治会があるので多いところも少ないところも一緒くたは難しい	
福祉やボランティア活動が遅れている	他市に比べ福祉やボランティア活動が遅れている		
市民センター機能充実している	市民センター機能充実している	市民センター機能が充実している	
		市民センターの役割が大きい	
		老上公民館は、現在は市民センターとして届出發行	
		市民センターの魅力づくりが課題	
		市民センターが地域に溶け込んでいない	
市民センター	市民センター	市民センターのスタッフが排他的である	
		市民センターは市民団体間の調整をしてほしい	

第2回～4回市民会議のグループワークの結果

部会	大項目	小項目	付箋内容
	市民センターの役割が大きい	市民センターの魅力づくりが課題	市民センター化により利便性は向上、使い勝手は要進化、運営（会館）スタイルは要改善
			市民のための施設であるならばもっと開かれた運営を考える必要がある
			イメージが暗い
			地域の拠点活動なので参加しない人をいかに参加してもらえるか
			館長によって運営が違う
			職員体制はいつそのこと米原方式（管理委託）もよいのではないか
			全学区一斉システムは難しいのでモデル地域はどうか？
	まちづくりセンターの役割が大きい	運営協議会方式がよい	運営協議会で市民と行政・財団が対等に話し合う まちづくりセンター 利用者・所有者・管理者との協働による運営協議会
		利用団体調整が難しい	まちづくりセンター 利用の仕方が異なる各団体の調整の難しさ
	行財政状況の安定	行財政状況の安定	夕張のように破綻していない

日程希望調査結果

数字は都合の悪い方の人数

		午前	午後	夜間
		10:00~12:00	14:00~16:00	19:00~21:00
第5回	10月25日(土)	10	9	6
	10月26日(日)	9	8	8
	10月27日(月)	4		2
	10月28日(火)	9	7	4
	10月29日(水)	9	8	4
	10月30日(木)	9	9	6
	10月31日(金)	11	10	5
第6回	11月24日(月)	5	4	1
	11月25日(火)	7	5	4
	11月26日(水)	8	7	2
	11月27日(木)	7	8	5
	11月28日(金)	9	9	5
	11月29日(土)	11	10	7
	11月30日(日)	9	7	6
第7回	12月6日(土)	7	7	5
	12月7日(日)	8	7	6
	12月8日(月)	3	3	1
	12月9日(火)	4	4	3
	12月10日(水)	7	6	2
	12月11日(木)	7	8	5
	12月12日(金)	7	5	5
	12月13日(土)	6	6	5
	12月14日(日)	8	6	6

代表×      代表、副代表ともに×

■市民会議の今後の取り組み日程について（平成20年12月まで）

回 数	内 容	日 時	場 所
第1回	趣旨説明、草津市の概況把握、部会の編成	平成20年 8月24日(日)午後2時～	市役所 8階会議室
第2回	わがまち草津を語って、視察先を決めよう!	平成20年 9月 7日(日)午後2時～	市役所 8階会議室
第3回	まちを歩いて、よいところや課題を確認しよう	平成20年 9月28日(日) 午後1時30～	まちづくり センター
第4回	草津全体の課題をながめてみよう	平成20年10月 5日(日)午後2時～	市役所 8階会議室
第5回	草津のまちの将来像について	平成20年10月27日(月)午後7時～	茨川市民センタ ー大会議室
第6回	これからのまちづくりの取り組みについて①	平成20年11月24日(月)午後7時～	アミカホール
第7回	これからのまちづくりの取り組みについて②	平成20年12月 8日(月)午後7時～	未定
第8回	検討結果の取りまとめと構想への反映について	平成21年 1月(予定) 日曜日の昼間	未定